

学校評価（保護者）

1 学校教育目標「自ら学び 心豊かで たくましい南っ子の育成」は、わかりやすく適切である

[詳細](#)

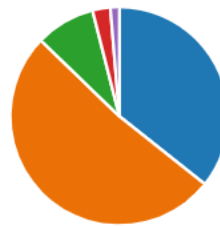
● とてもそう思う	29
● そう思う	152
● どちらともいえない	42
● そう思わない	3
● 全くそう思わない	1



2 児童は、楽しく学校に通っている

[詳細](#)

● とてもそう思う	81
● そう思う	117
● どちらともいえない	20
● そう思わない	6
● 全くそう思わない	3



3 学校は、「いじめのない学校づくり」へ取り組んでいる

[詳細](#)

● とてもそう思う	14
● そう思う	148
● どちらともいえない	57
● そう思わない	6
● 全くそう思わない	2



4 学校は、わかりやすい学習指導を行っている

[詳細](#)

Insights

● とてもそう思う	24
● そう思う	145
● どちらともいえない	51
● そう思わない	5
● 全くそう思わない	2



5 児童は、学習した内容が身についている

[詳細](#)

Insights

● とてもそう思う	20
● そう思う	126
● どちらともいえない	66
● そう思わない	13
● 全くそう思わない	2



6 学校は、一人一人の教育的ニーズに応じた教育（合理的配慮を含む）を行っている

詳細

● とてもそう思う	19
● そう思う	116
● どちらともいえない	79
● そう思わない	12
● 全くそう思わない	1



7 学校は、児童や保護者の悩みなどを聞く相談体制をとっている。

詳細

Insights

● とてもそう思う	36
● そう思う	131
● どちらともいえない	46
● そう思わない	11
● 全くそう思わない	3



8 学校は、一人一人の子どもをよく理解し、指導・支援をしている

詳細

Insights

● とてもそう思う	27
● そう思う	127
● どちらともいえない	58
● そう思わない	11
● 全くそう思わない	4



9 学校は、児童へ健康や安全に関する指導を適切に行っている

詳細

Insights

● とてもそう思う	38
● そう思う	145
● どちらともいえない	39
● そう思わない	5
● 全くそう思わない	0



10 学校は、施設設備が整い、教育環境が整備されている

詳細

Insights

● とてもそう思う	11
● そう思う	130
● どちらともいえない	69
● そう思わない	17
● 全くそう思わない	0



11 学校は、必要な情報を保護者や地域に「学校だより」等で伝えている

詳細

● とてもそう思う	39
● そう思う	159
● どちらともいえない	24
● そう思わない	5
● 全くそう思わない	0



12 学校は、保護者や地域の力が生かされている

詳細

Insights

● とてもそう思う	19
● そう思う	141
● どちらともいえない	55
● そう思わない	12
● 全くそう思わない	0



<考察>

「A：とてもそう思う」「B：そう思う」を合わせて80%を超えているのが、No2、No9、No11である。また、保護者の意見にも「親身に対応して頂けたのが嬉しいとともに安心でした」「コロナ禍で先生方も学習面や教室の環境整備など様々のご苦労があったかと思えます。本当にありがとうございます。」「スクールガードボランティア様のお陰で安心して登校できます」等、温かい励ましを頂いた。新型コロナ感染症防止のため、「新しい学校生活様式」による制限のある中での前期であったが、児童への担任はじめ全職員による日々の対応の積み重ねが評価されてきたものと思われる。

一方、課題としては、No5、No6、No10の3項目が挙げられる。保護者の意見にも「コロナ対策で授業が時短になり、どのように進められているか知りたいです」「アンケートを通して発達面やいじめ等により配慮や対応が必要なお子さんなどに、どのように対処されているのか当事者でない者からは見えにくいと感じました」「コロナ禍で学校での子供の様子を見る機会や先生方と関わることがほとんどないので学校の様子が今一わからないのが残念です」等、貴重なご意見を頂いた。

特別支援教育については、今年度より3クラスになり、より個に応じたきめ細やかな指導・支援に取り組んでいる。昨年度に引き続き、学校行事などの削減により実際に来校して頂ける機会が少ない状況である。今年度は、ホームページでの情報発信にも努めているが、引き続き、より良い手立てを検討していきたい。また、学習面では、体験的な学習はコロナ禍のため、厳しい状況があるが、年間計画に基づく学習内容(単元)は、予定通り進められているので、今後も児童に基礎基本となる学力の定着を図っていきたい。

学校評価（児童）

1 学(がっ)校(こう)へ行(い)くのは楽(たの)しい。

[詳細](#)

● そうおもう	174
● だいたいそうおもう	123
● あまりそうおもわない	10
● ぜんぜんそうおもわない	5



2 友達(ともだち)となかよく助(たす)けあっている

[詳細](#)

● そうおもう	167
● だいたいそうおもう	124
● あまりそうおもわない	21
● ぜんぜんそうおもわない	3



3 人(ひと)が嫌(いや)がる(いや)ことを言(い)ったりし(し)たりして(して)いない

[詳細](#)

● そうおもう	158
● だいたいそうおもう	104
● あまりそうおもわない	38
● ぜんぜんそうおもわない	12



4 どんなことにも最後(さいご)まであきらめず(あきらめず)がんば(が)っている

[詳細](#)

● そうおもう	137
● だいたいそうおもう	139
● あまりそうおもわない	32
● ぜんぜんそうおもわない	4



5 勉(べん)強(きょう)したことを理解(りかい)することができた

[詳細](#)

● そうおもう	114
● だいたいそうおもう	163
● あまりそうおもわない	28
● ぜんぜんそうおもわない	8



- 6 困(こま)ったときには先(せん)生(せい)に話(はなし)を聞(き)いてもらったりクラスで話(はな)したりした。

[詳細](#)

● そうおう	125
● だいたいそうおう	111
● あまりそうおもわない	61
● ぜんぜんそうおもわない	14



- 7 何(なに)かあった時(とき)は、先生(せんせい)方(が)たは声(こゑ)をかけたりいっしょに考えたりしてくれる。

[詳細](#)

● そうおう	182
● だいたいそうおう	102
● あまりそうおもわない	25
● ぜんぜんそうおもわない	5



- 8 がんばったことやできたことは先生(せんせい)にほめてもらえ、間違(まちが)った行動(こうどう)をしたときは注意(ちゅうい)してくれる。

[詳細](#)

● そうおう	203
● だいたいそうおう	87
● あまりそうおもわない	17
● ぜんぜんそうおもわない	9



- 9 1. ルールを守(まも)り、健康(けんこう)で安全(あんぜん)な生活(せいかつ)を送(おく)っている

[詳細](#)

● そうおう	181
● だいたいそうおう	111
● あまりそうおもわない	18
● ぜんぜんそうおもわない	5



- 10 学(が)校(こう)のもの(教(きょう)室(しつ)・体育館(たいいくかん)・図書室(としょしつ)など)は使(つか)いやすい

[詳細](#)

● そうおう	205
● だいたいそうおう	93
● あまりそうおもわない	14
● ぜんぜんそうおもわない	3



11 家(いえ)では、学校(がっこう)や友達(ともだち)のことをよく話(はな)す

[詳細](#)

● そうおもう	181
● だいたいそうおもう	83
● あまりそうおもわない	32
● ぜんぜんそうおもわない	19



12 あいさつを学校(がっこう)・家(いえ)・地域(ちいき)の方々(かたがた)にきちんとしている。

[詳細](#)

● そうおもう	152
● だいたいそうおもう	125
● あまりそうおもわない	29
● ぜんぜんそうおもわない	10



<考察>

N o 1、N o 2、N o 8、N o 9、N o 10は「A：そう思う」「B：だいたいそう思う」を合わせると90%を超えている。そして、N o 6以外は80%を超えており、児童の学校生活は良好であると考えられる。コロナ禍での制限ある学校生活であるが、その中でも児童は「仲よく助け合って」楽しく学校生活を過ごしている。また、N o 9では、感染症予防のための通常とは異なるルールもあるが、きちんと健康・安全を考えて行動している意識がうかがわれる。(92.4%)しかし、自転車の安全な乗り方や登下校については安全指導に関する意見が、保護者からあげられていた。引き続き、指導するとともに児童の行動化を日常的に高めていきたい。

一方、課題としてはN o 6と N o 11がある。N o 6は設問の内容が「先生に聞いたりクラスで話したり」となっており、N o 7の「先生は声をかけたり一緒に考えたり」が89.9%と高い評価になっていることを併せて考えると、クラスで話し合う活動はコロナ禍で少なくなっていたことも要因の一つと思われる。今後、学級活動や相談できる時間確保に努めたい。N o 11についても、児童のマイナス評価(C：あまりそう思わない+D：全然そう思わない)が、16.1%となっている。発達段階的に児童の様子を見守りながら、また、家庭の生活のリズムの中で会話する時間との関係も重ね合わせながら考えなければならない。